

みよし市	所属議員 渡邊郁夫、田中祐二	
【活動選定項目】 国・県・市町で取り組むテーマを設定	<p>① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車)</p> <p>② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現</p> <p>③ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上</p>	<p>④ 地域への貢献活動 (例:部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成)</p> <p>⑤ 子育て支援策</p> <p>⑥ 行政のDX推進施策</p> <p>⑦ 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応など)</p>
具体的活動 (調査・研究含む)	令和6年12月定例会での一般質問「孫休暇制度の導入について」	【図や活動の様子が分かる写真など】
選択した項目 テーマ <u>⑤</u>	<p>【背景】定年延長により現役で働いている間に祖父母となり育児に関わっていく人が増加していくことが想定される中、祖父母が子育てに関わることは、子育て世帯の負担軽減や祖父母にとって、喜びやワークライフバランスの充実につながっていくと考え、「孫休暇制度」の導入について一般質問しました。</p> <p>Q: 本市職員が率先垂範で「孫休暇制度」を導入し、民間事業所にも広がりを期待したいと思いますが、導入についての考え方をお聞かせください。</p> <p>A: 子育ては家庭だけが担うものではなく、より多くの多様な方が関わり、社会全体で子育てをしていくという考えを提起していくべき。自治体の責務として、目指すべき社会の姿を示し、制度政策によってその方向性に誘導していくことは重要であり、自治体が率先してその取り組みを行い民間企業等に取り組みの促進を促していく必要がある。準備が整い次第、早期に本市としても「孫休暇」を導入していきたい。</p>	 <p>休暇の対象や休暇日数などを検討し準備が整い次第、早期に導入予定</p>
今後の活動	急速に加速する人口減少。少子化、高齢化対策として自治体がやれる事を提言していく。 「孫休暇」導入については、民間事業所への広がりが重要なため事業導入後のフォローを実施する。	
具体的活動 (調査・研究含む)	<p>【トピックス】公園維持管理事業 ※令和5年9月定例会での一般質問</p> <p>【事業名】公園照明灯LED化改修工事（令和7年度）</p> <p>【概要】公園照明は多くが水銀灯であり、環境負荷の低減や電力消費量削減のため 灯具などの改修によりLED化を実施します。</p> <p>【実施場所】計40基（旭丘公園3基、みなよし台公園3基、ひばりヶ丘公園7基、他7公園）</p> <p>【予算額】20,000千円 ※債務負担行為</p> <p>【効果】CO2低減量：約9.6t/年 電力削減量：約22,720kw/年 削減金額：約778,560円/年</p>	【図や活動の様子が分かる写真など】
選択した項目 テーマ <u>①</u>		 <p>対象公園位置図</p>
今後の活動	三好公園総合運動場の陸上競技場グラウンド夜間照明や野球場夜間照明、旭グラウンド夜間照明は、水銀ランプを使用しており、現状調達が困難になっているが、緊急的にLED照明交換が必要ではないか、また、照明塔鉄塔更新について継続して訴えていく。	